

自動給餌機 **さんし郎**

KA型 単相 100V

取扱説明書

◆型式 KA-20-S KA-40-S KA-80-S

 **有限会社松阪製作所**

〒596-0049
大阪府岸和田市八阪町2丁目2番38号
TEL 072-438-2666 FAX 072-438-2536
E-mail mtskltd@matsusakaltd.co.jp
URL <http://www.matsusakaltd.co.jp>

この度は、自動給餌機『さんし郎』をご採用くださいます。誠にありがとうございます。本機は、給餌機の本質の機能を考え、より遠方まで、広角に、且つ均一な散布で、飼料効率のアップ、餌の状態に影響されない安定した定量性で、魚の健康管理と、給餌の合理化を目指し、研究開発された特許自動給餌機『さんし郎』です。

ぜひ、本機の性能を十分に発揮させ、永くご使用いただく為に、この説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。

1. 性能・仕様

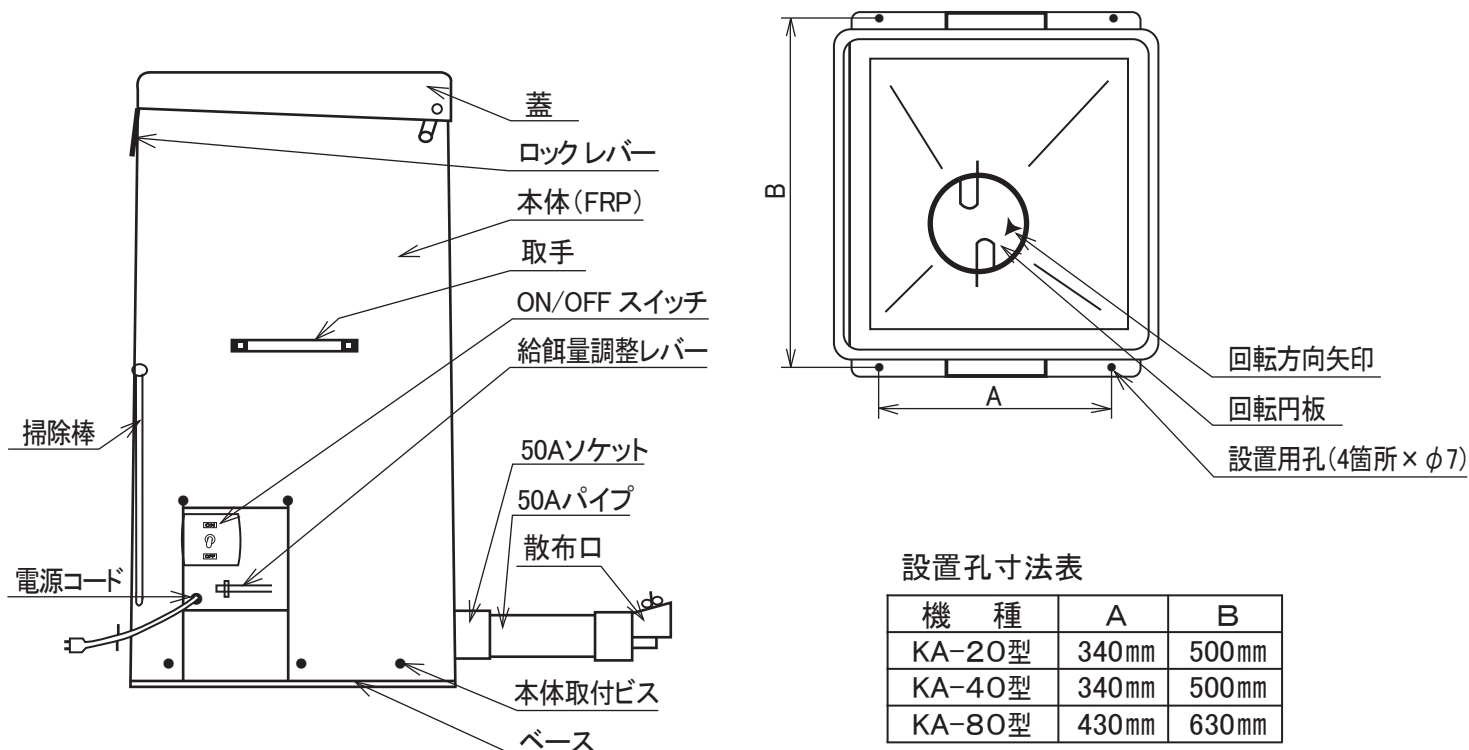
| 型式 | KA-20 | KA-40 | KA-80 |
|---------|----------------------------------|-------|-----------|
| タンク容量 | 41 L | 82 L | 165 L |
| 餌(EP)容量 | 20 kg | 40 kg | 80 kg |
| 給餌能力 | 50Hz Aタイプ 0~20kg/時・Bタイプ 0~32kg/時 | | |
| | 60Hz Aタイプ 0~25kg/時・Bタイプ 0~40kg/時 | | |
| 消費電力 | 50Hz・160W | | 60Hz・150W |
| 本体重量 | 18 kg | 20 kg | 27 kg |

餌種:初期飼料
クランブル
ペレット

電源:単相100V
散布口径:50mm

※給餌能力は多量用もあります。

2. 各部の名称

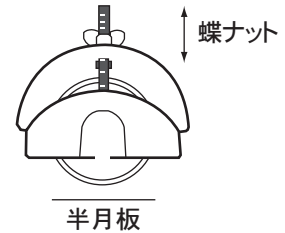


3. ご使用上の注意

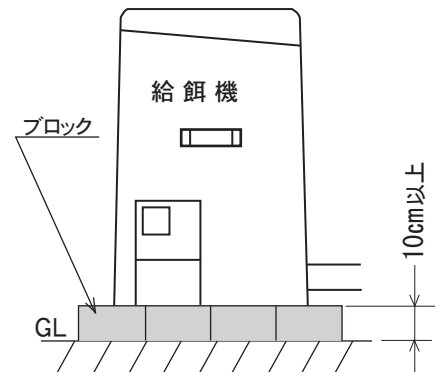
① 設置方式・設備場所について

- ◆ 散布範囲は通常、幅3~3.5m、距離3~4mと広範囲です。しかも散布口の調整により散布状況を変えられますので、池の形状、設置場所に合わせて調整のうえ、最適な場所に設置してください。

蝶ナットの上下および、半月板を軽く広げる
または狭めることで、散布状態が変化します。



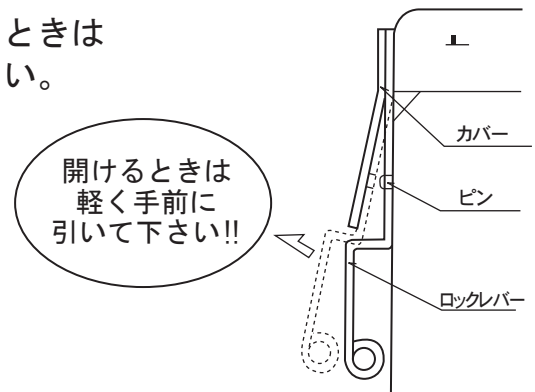
- ◆ 直接地面に設置される場合には、必ずブロックなどを用い、10cm程度高くなるようにしてお使いください。
- ◆ 給餌機の底部に送風機の吸気口を、2ヶ所設けています。設置時に、この吸気口をふさがないようにご注意ください。
- ◆ 強風による被害を防ぐため、4ヶ所の設置用孔で取り付けの上、さらにロープ等をも用いて確実に固定してください。



② フタは自動ロック方式です。

- ◆ ロックレバーにピンが入っていますので、開くときはレバーを手前に軽く引き、フタを開けてください。
(右図参照)

閉めるときは、フタを持ち上げる様にする
と、スムーズに閉じることができます。
蓋の重さでロックレバーにピンがセット
されますが、念のためにご確認ください。



③ 給餌量の調整について

給餌量の調整は、必ず運転中に行なってください!!

(停止中に量を調整する場合、調整溝部の餌により調整レバーが重い場合がありますので無理をせず、運転しながら調整してください。)

目盛りは0~10までの比例増減で無段階に調整できますので、最適량でご使用いただけます。

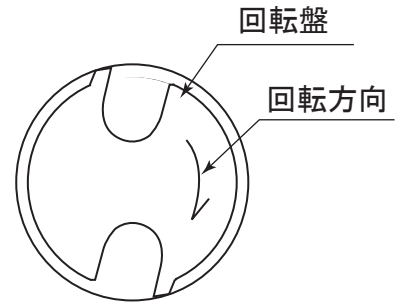
- ④ 電源には必ず漏電ブレーカーをご使用ください。
- ⑤ 散布口は適時、掃除してください。
- ⑥ 雨水などの混入した餌を使用しますと、一部にねばりを持ち、調整溝内部に詰まることがあります。調整レバーの目盛りを最大の10に合わせ、しばらく運転し、落下させるか、または付属の掃除棒で、通路、ダンパー部を軽く掃除してください。

4. 点検時の注意

回転盤の回転方向は一方向(時計方向)

回転盤の回転方向は矢印方向です。(右図の通り) 点検・掃除の際、手で回される場合は、必ず矢印方向に回してください。

逆方向へ無理に回すと、破損の原因となります。



点検は電源を切ってから行ってください!!

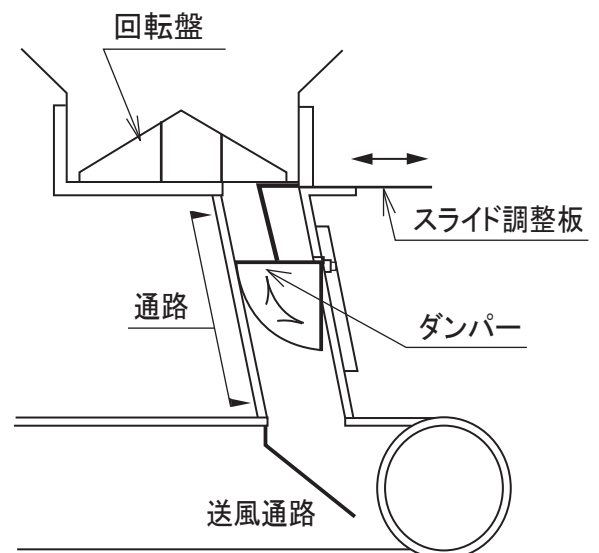
各モータにはそれぞれに、過負荷保護装置が内蔵されています。回転盤や送風機の羽根がロックしますと、モータが過熱し、自動的に保護装置が働き、電気回路を切りモータを保護しますが、温度が下がりますと自動的に復帰しますので、必ず電源を切ってから点検・修理を行ってください。

5. 点検・保守について

- ① 本機は、本体・ベース分離構造ですので、本体取り付けネジ及び、50A散布管ソケットを取るだけで、本体とベースが分離できますので、駆動部などの点検や修理が簡単に行えます。
- ② 使用后、残餌などがいないかご確認ください。特に回転盤及び餌通路部に残餌が溜まる場合がありますので下記の順にて清掃してください。

- 1) 調整レバーの目盛りを10に合わせスライド調整板の溝幅を最大にします。
- 2) 矢印方向に回転盤を手回して回転させ、切欠部を溝部に合わせます。
- 3) 付属の掃除棒などで、餌通路を軽く掃除してください。このときダンパーは軽く押すと開きます。

ダンパーは、作動位置や、軽く作動するように調整されていますので、絶対に無理な力をかけないでください。また、木片・柔らかい棒などは使用しないでください。



- 4) 送風通路は、散布口側より掃除棒で掃除してください。